

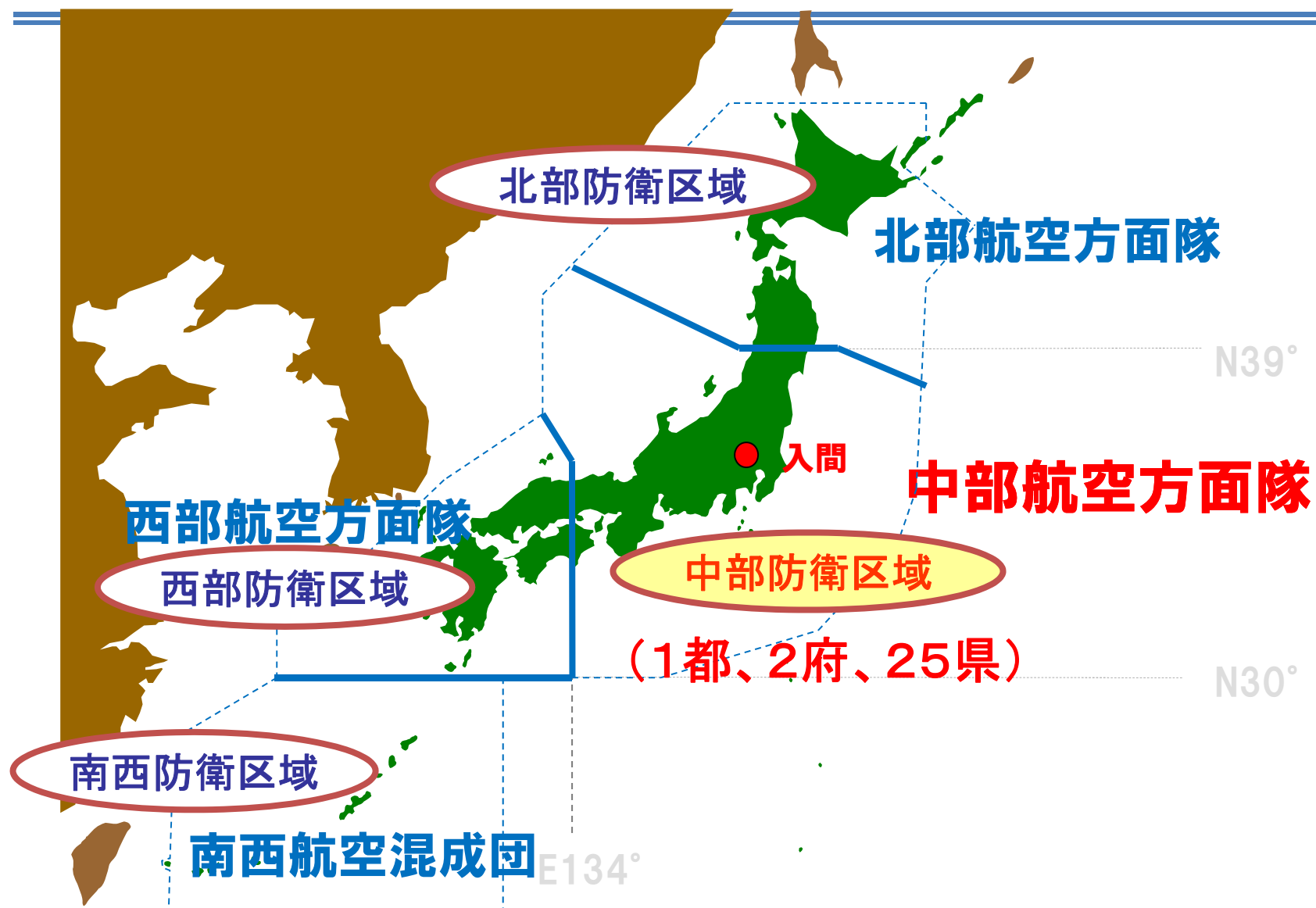


中部航空方面隊の概要と防災に対する取り組み





中部航空方面隊の担任防衛区域





中部航空方面隊の編成

-  : 司令部
-  : 戦闘機
-  : ペトリオットミサイル
-  : 警戒管制レーダー
-  : 施設隊
-  : 音楽隊





災害派遣にかかわる中部航空方面隊の担任エリア

■: 中空司令部が災害派遣担当窓口(18府県)

■: 中空隷下部隊

■: 中空隷属以外



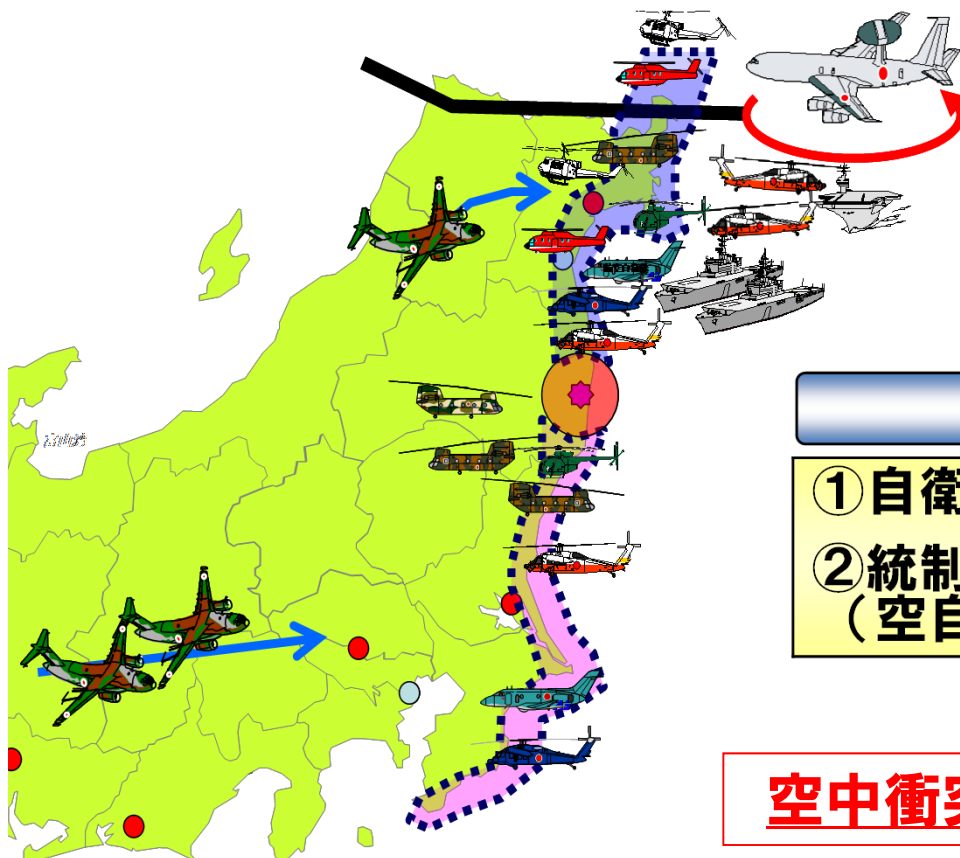


中部航空方面隊の災害派遣に対する取り組み

東日本大震災時における主な航空活動等の様子

【中空確認分】

発災～3日間で延べ700機以上



-自衛隊

陸自...偵察、搜索救助、空輸等

海自...偵察、搜索救助、空輸等

空自...偵察、搜索救助、空輸等

-米軍...搜索救助、空輸等

-他機関等

警察、海保、消防、防災ヘリ等

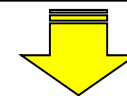
-その他

新聞社、TV局等

東日本大震災の教訓

① 自衛隊及び各機関の航空機が多数飛行

② 統制機関なし
(空自、管制機関等の一部情報提供のみ)



空中衝突等の2次災害発生の可能性が顕在



原因及び取り組み



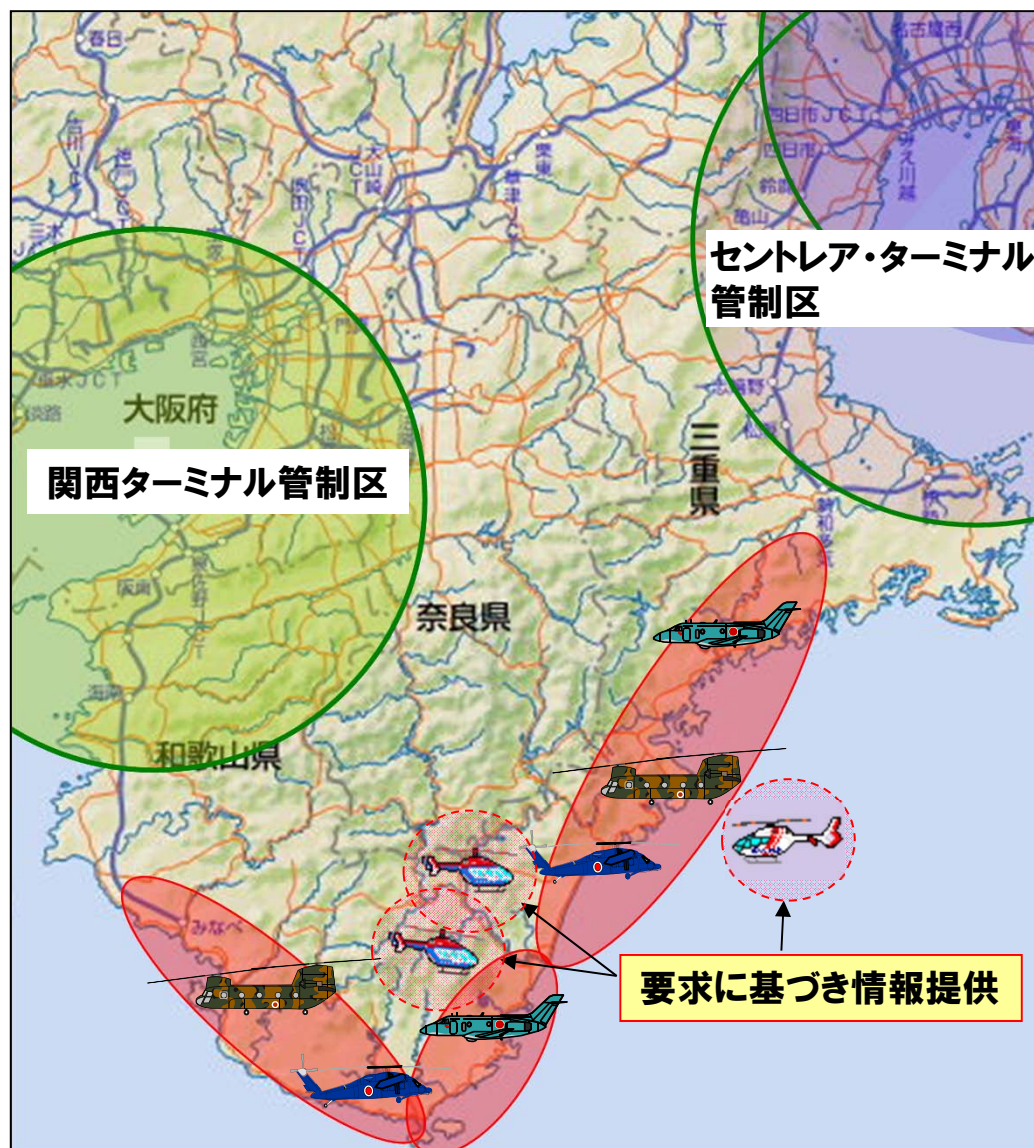
原因：災害派遣時等の飛行要領及び無線周波数の未標準化

取り組み：

- ① 首都直下地震発生時の自衛隊機の航空安全確保に係る連携要領の確立
東部方面総監部、横須賀地方総監部及び中部航空方面隊司令部との相互協力に関する実務者レベルでの申合せの締結
- ② 中部航空警戒管制部隊における、具体的な安全確保要領の確立
シミュレーション、防災訓練の場を活用した実動検証の実施
- ③ 上級部隊「南海トラフ地震」対処計画への航空安全確保要領の提言
 - ・「首都直下地震」対処計画の航空安全確保要領を準用した計画への提言
 - ・自衛隊以外の関係機関にも共通使用が可能な無線周波数の設定**⇒自衛隊としての対処計画へ反映(25年12月)**
- ④ 関係公共団体等に対する航空自衛隊の航空情報提供要領の紹介
航空安全確保のため防災訓練及び会同等の機会を活用し積極的に紹介中



災害発生時における航空集中時の情報提供要領



- 1 対象航空機
有視界飛行方式で捜索救助活動地域
周辺を飛行する航空機
- 2 対象エリア
中空担任空域内で、航空交通管制圏
及び公示されたターミナル管制区を除く
エリア
- 3 実施部隊
中部航空警戒管制団(防空指令所)
- 4 呼出符号: OFF SIDE(オフサイド)
- 5 周波数: 123.1MHz
- 6 提供する情報
(1) 飛行する他航空機の情報
(2) その他飛行安全上、必要な情報
- 7 その他
その都度、NOTAMにて周知

*NOTAM (Notice to airman)
: 航空機運航上の危険、運航支援及び飛行場の運
用等に関する情報(国交省が発出)



END